

啓発



- 周知する
  - ・事前の準備は町内会単位で周知をするべきだと思う
- 計画を継承していくためにできること
  - ・家族みんなで確認しておく
  - ・若者も残りたいと思える「魅力」をつくっておく必要がある
  - ・学校教育で復興の大事さを教える
  - ・地元で活動する人と学生と一緒にワークを行いたい(市が主催)
  - ・小学校での防災の授業でワークショップした内容を知らせる授業をしたら、保護者にも伝わるのではないかな

事前準備



- 備える
  - ・耐震化、家具転倒の対策をしたが、種崎は古い家が多いため被害が多くなる可能性がある
  - ・ブロック塀が地震で崩れる心配があるため、事前に対策したい
- 避難路の整備
  - ・学校からの避難路を維持管理してほしい
  - ・空地を民間と連携して場所を確保しておけばいい
  - ・浦戸大橋に避難機能(避難できるスペース)を持たせたい
- 防災拠点の整備
  - ・仁井田地区にも日常からコミュニティと防災の拠点となる施設が必要である(三里ふれあいセンターの建て替え)
  - ・種崎津波避難センターは井戸が使えるため水の確保ができています

避難訓練



- ・まずは、日々の避難訓練で命を守ることが必要である
- ・津波避難タワーを常時開放して、普段から登る訓練をする必要がある
- ・津波避難タワーで訓練することで避難のイメージがしやすくなる
- ・時間帯を変えての避難訓練が必要である

共助力を高める



- ・4、5、6区は百歳体操や愛ちゃんストアで横のつながりがある程度できている
- ・普段行事に関わっていない人も地域内の人で気にかけている
- ・コミュニティが強い

事前復興まちづくり計画ワークショップを通して感じたことなど

●ワークショップのことについて

- ・家族と復興期の話ができた
- ・ワークショップを継続してほしい
- ・受け継ぐ世代によって意見が変わり、復興パターンも変わってくると思う(拡幅してほしい道路等)
- ・若者に参加してほしい
- ・復興完了までの細かい期間が知りたかった。その期間によっては種崎を出る人もいるのではないかな
- ・ワークショップで意見を言ったが、この計画が今後どのように活かされるか想像つきにくい



●事前復興について

- ・改めて復興を自分事として考える機会となった
- ・具体的なイメージができた(復興パターン)
- ・事前復興計画を避難場所となる学校にも周知すべきだと思う
- ・復興の話は難しい、現実味がわかない
- ・東北などの被災地を視察したが、イメージしにくい
- ・災害を経験していないため、考えにくい

●今後の取り組みについて

- ・三里全体で活動している組織を使って地域みんながつながるようにすることで、地域の意見をまとめて一つのビジョンもできるのではないかな
- ・三里ポ連:三里全体を考える会
- ・三里つながり隊:十津地区で資源ごみの収集のボランティアを行っている
- ・まずは命を守ることが重要(家具転倒防止、備蓄等)
- ・小さなことからコツコツやるのが大事である

その他たくさんのご意見をいただきました

●お知らせ

「地区別事前復興まちづくり計画(三里地区)」の計画書が作成できましたらホームページ上に掲載させていただきます。  
過去のワークショップニュースもホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

●お問い合わせ先

高知市 防災対策部 防災政策課  
事前復興まちづくり担当  
TEL:088-823-9055  
FAX:088-823-9085  
Mail:kc-080200@city.kochi.lg.jp

# 高知市 事前復興 まちづくり ニュース VOL.3

R8.4.21

## 三里地区

### 事前復興まちづくり計画 第3回ワークショップ (種崎地区)を 開催しました!

地域の方  
24名参加

ワークショップでいただいたご意見のまとめ  
意見交換3は2、3ページ、ワーク5は4ページです

3月15日(日)、種崎津波避難センターで、三里地区事前復興まちづくり計画第3回ワークショップ(種崎地区)を開催しました。意見交換3では今までの地域の方の意見を反映した「最終復興ビジョン」、「最終復興パターン」についての意見交換を行い、ワーク5では「災害が起きる前からできること」について、みんなでお話ししました。



第1回 R7.8.3開催

- ワーク1 三里の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていること
- ワーク2 復興パターン2案について
- ワーク3 楽しくなるような未来のまちを想像する



第2回 R7.11.29開催

- 意見交換1 復興ビジョンについて
- 意見交換2 修正復興パターンについて
- ワーク4 速やかに復興するために必要なこと



第3回 R8.3.15開催

- 意見交換3 最終復興ビジョン、最終復興パターンについて
- ワーク5 災害が起きる前からできること



決定！ 三里地区の目指すべき姿=ビジョン

『海と大地と助け合い 災害に強く ずっと住みたいまち』

地元の産業を支え、海水浴場として親しまれる「海」と、彩り豊かな花や野菜を育む「大地」。この2つの恵みを大切にしながら、日頃の地域の「つながり」を力に変え、いざという時に「助け合う」ことで、災害に負けない強いまちをつくります。  
三里の良さを次の世代へつなぎ、誰もが誇りを持って「ずっと住みたい」と思える、温かい地域を目指します。

【決定の経緯】

- ワークショップ等で最も多くの支持をいただいた「案3」をベースに、次点の「案2」でご意見の多かった「災害への強さ」も取り入れ、皆様の想いを一つにしました。
- 三里の誇りである「海」や「大地」、そして大切な「助け合い」。子供から大人まで、誰もが分かりやすく覚えられこの言葉をつなぎ、私たちの目指すべき姿にしました。

ご検討いただいた案(前回お示したもの)

- 案1「資源」を主軸 『海・なりわい・歴史の魅力に溢れた 住みよい安心と絆のまち』
- 案2「防災」を主軸 『人・海・歴史が繋がる 災害に強く、住み続けたいまち三里』
- 案3「コミュニティ」を主軸 『自然と産業が調和し、人と地域が支え合う、安心を育むまち 三里』

本ビジョンに対するご意見

いいね！  
・この復興ビジョンでいいと思う

「大地」の表現について

- ・「大地」は大き過ぎるため、「地域」にしてはどうか
- ・復興ビジョンは大きく広い意味を踏まえ、「大地」でいいと思う
- ・「大地」より「山」がいいのではないかと

「三里」の呼び名に違和感

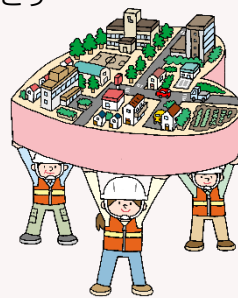
- ・種崎・仁井田・十津で特徴が違うため、「三里」と一括りにせず、それぞれの地区名を入れたらどうか
- ・地名、呼び名に違和感がある 「三里」→種崎、仁井田、池 十津→仁井田に含まれている
- ・小学校区に分けて考えるとややこしい

地域の特徴を入れたい

- ・もう少し三里らしいフレーズを入れてほしい

産業についても触れてほしい

- ・ビジョンに産業についても入っていたらいいのではないかと



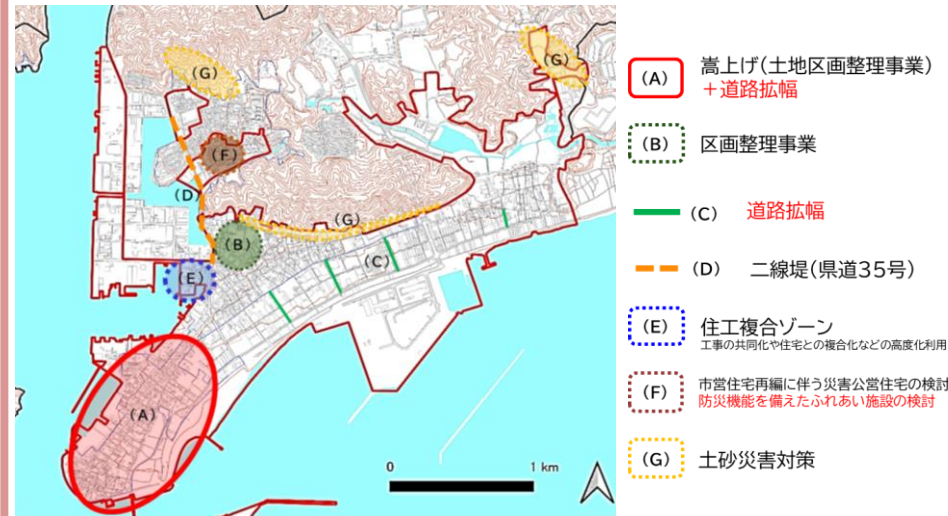
皆様と歩む、これからの未来

事前復興まちづくり計画の核となるビジョンにつきまして、多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

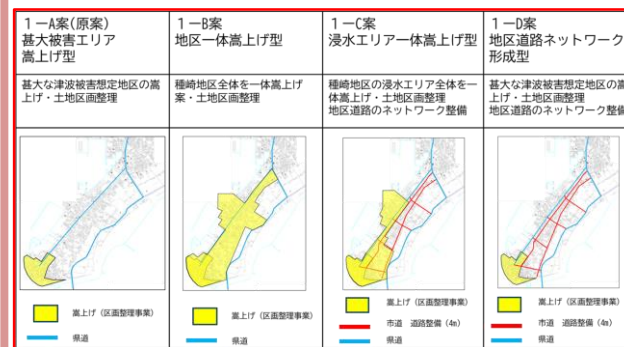
皆さまの地域を想う熱い想いを踏まえ、検討を重ねました結果、本案『海と大地と助け合い 災害に強く ずっと住みたいまち』を最終的なビジョンといたしました。

このビジョンは、災害時に地域の復興を導く、私たちの指針として大切に受け継いでまいります。

嵩上げ案



<(A)の復興パターン>



道路について

- ・バス通りまで遠い人がいるため、広い道路を何箇所か通してはどうか
- ・土地の嵩上げで坂道ができれば移動がしんどくなる(バリアフリー化が必要となる)
- ・一方通行で道路が狭いところが多いため、道路整備が必要である

心配なこと

- ・嵩上げをするにしても、何か魅力がないと人が帰ってこないのではないか(単なる宅地再建だと帰ってこない)

いいね！

- ・嵩上げ案がいいと思う
- ・住宅を建て直すなら嵩上げ案が良い
- ・Aの箇所は1-D案が一番現実的だと思う

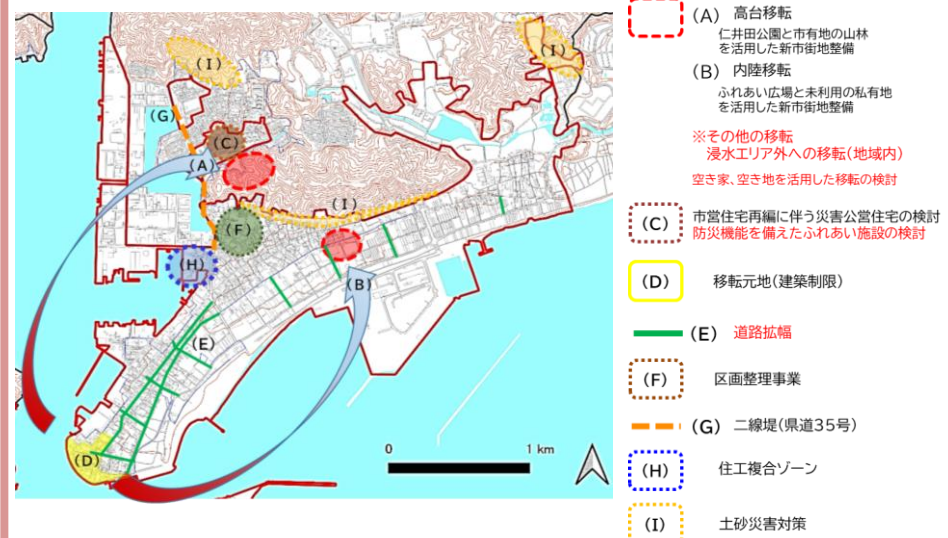
アイデア

- ・企業や民間と連携して事前に使える土地を探すべきではないか
- ・復興期間の見通しを示すことで、土地が整備できるまで待つ人もいるのではないかと
- ・再建できない人のために(特に高齢者)嵩上げ後に集合住宅を作りたい(種崎地区内)

魅力を生み出す

- ・独自の産業をつくる
- ・ヨネッツや東部運動場みたいな場所をつくる
- ・海水浴場を復活させる

移転対応案



アイデア

- ・仮設住宅と移転先を確定してくれたら想像ができると思う
- ・移転するならスーパー、病院を巻き込んで移転したい

心配なこと

- ・移転はできるだけしたくない
- ・移転の際にコミュニティが維持できるか心配である。できれば知り合いと一緒にのころへ移転したい

その他意見

心配なこと

- ・若い人がますます出ていくことが心配
- ・種崎排水機場が機能しなかった場合の内水氾濫が心配
- ・復興後に下水処理場を作らないと色々な問題が起きるのではないかと(浄化槽の維持管理、側溝の清掃等)

地域の話し合い

- ・住民全員の意見を調べることは大変である(嵩上げ・移転の意向)
- ・地域内で嵩上げ、移転の意向を話しておく必要がある